

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電子情報設計プロジェクト						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	平野 剛						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマに対して情報収集することで、求められる仕様を策定できる。(C1,C3) 仕様に基づいて設計・開発計画を立てて遂行できる。(C4,C3) 開発上の問題を報告書としてまとめ、ミーティングを通して解決策を図ることができる。(C2,C4,C5) 最終的な成果物に対して評価・検証できる。(B5,B6,C5) 視覚化の技法やユーザインタフェース設計法を学んで、分かりやすく提示できる。(C1) 成果物に対する報告書を作成して組込みシステムの基盤技術を説明できる。(B4,B5,B6,C3) 						
日程と内容	<p>4/9 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/16 各テーマに対する基礎学習Ⅰ 4/23 各テーマに対する基礎学習Ⅱ 4/30 各テーマに対する基礎学習Ⅲ 5/7 基礎演習用テーマの調査および資料収集 5/14 演習テーマの仕様策定および開発計画の作成 5/21 基本設計に基づいた詳細設計および回路・プログラム作成 5/28 成果物の妥当性検証と性能評価および報告書作成 6/4 応用演習用テーマの調査及び資料収集 6/11 演習テーマの仕様策定と詳細設計 6/18 設計仕様に基づいた開発計画およびグループ内での役割分担 6/25 詳細設計に基づき、回路の製作あるいはプログラムを作成する 7/2 完成した回路あるいはプログラムの妥当性を種々の検証 7/9 最終報告会Ⅰ 7/16 最終報告会Ⅱ</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート		実技 部外評価 プレゼンテーション			50%	
	課題 演習	50%	計			100%	
授業到達目標の達成度	授業内容に関して、いずれの到達目標に対しても概ね達成している。						
反省点	1班12～14人の4グループに分かれて異なるテーマで実施しているため、TAに協力して貰いながら進めていたが、グループによっては満足に実施できず、不満を持った学生もいたようだ。						
来年度の計画	来年度は、各テーマの到達目標のレベルを多少下げる必要があるかもしれない。						
授業評価アンケートに対するコメント	「内容を理解できたか」が3.8と最も低く、その他の項目も3.9～4.1の評価であった。総合評価が8.0であったため授業に対する満足度は低いと思われる。						
履修登録者数	50名	定期試験 受験者数	50名	合格者数	48名	合格率	96%